

FS46 FS56 壁寄せ取付金具 取扱説明書

----- 重量 45kg 以下 (FS46)、68kg 以下 (FS56) の薄型テレビの壁寄せ取り付けに適用 -----

この度は、FS46 又は FS56 の壁寄せ取付金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
FS46 は 26 ～ 46V 型の薄型テレビを、FS56 は 32 ～ 56V 型の薄型テレビを、壁面に寄せての取付用で、上下方向の視野角が +0° -3° の可変が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ


フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の強度に耐える場所が必要です。

警告



禁止

FS46 壁面壁寄せ取付金具は、総重量 45kg 以下の薄型テレビを、又 FS56 は総重量 68kg 以下の薄型テレビを木製又はコンクリート製の壁面に寄せて固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
又、木製やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



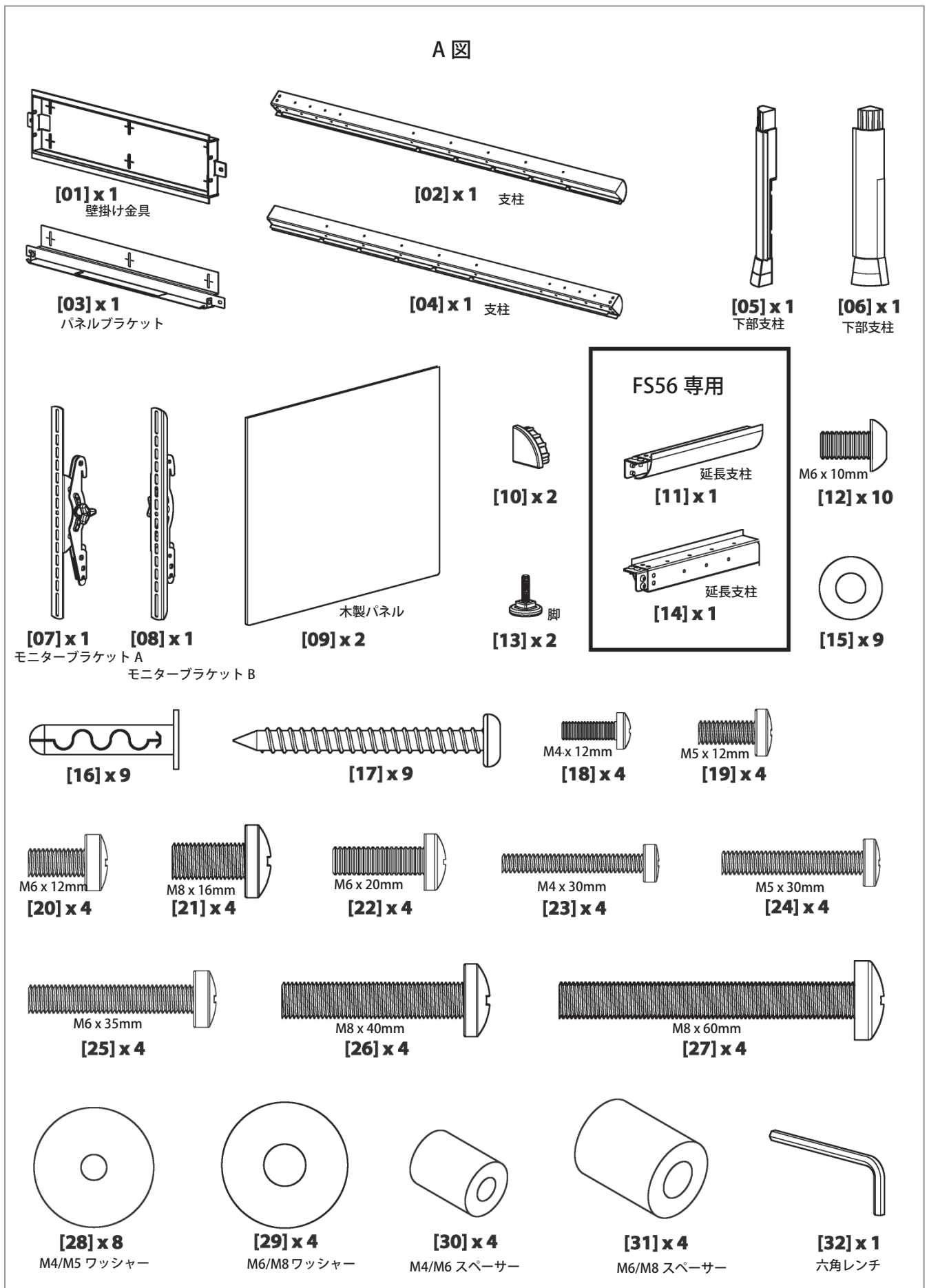
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次の A 図の部品の現品の形や数量を、確認しておいて下さい。

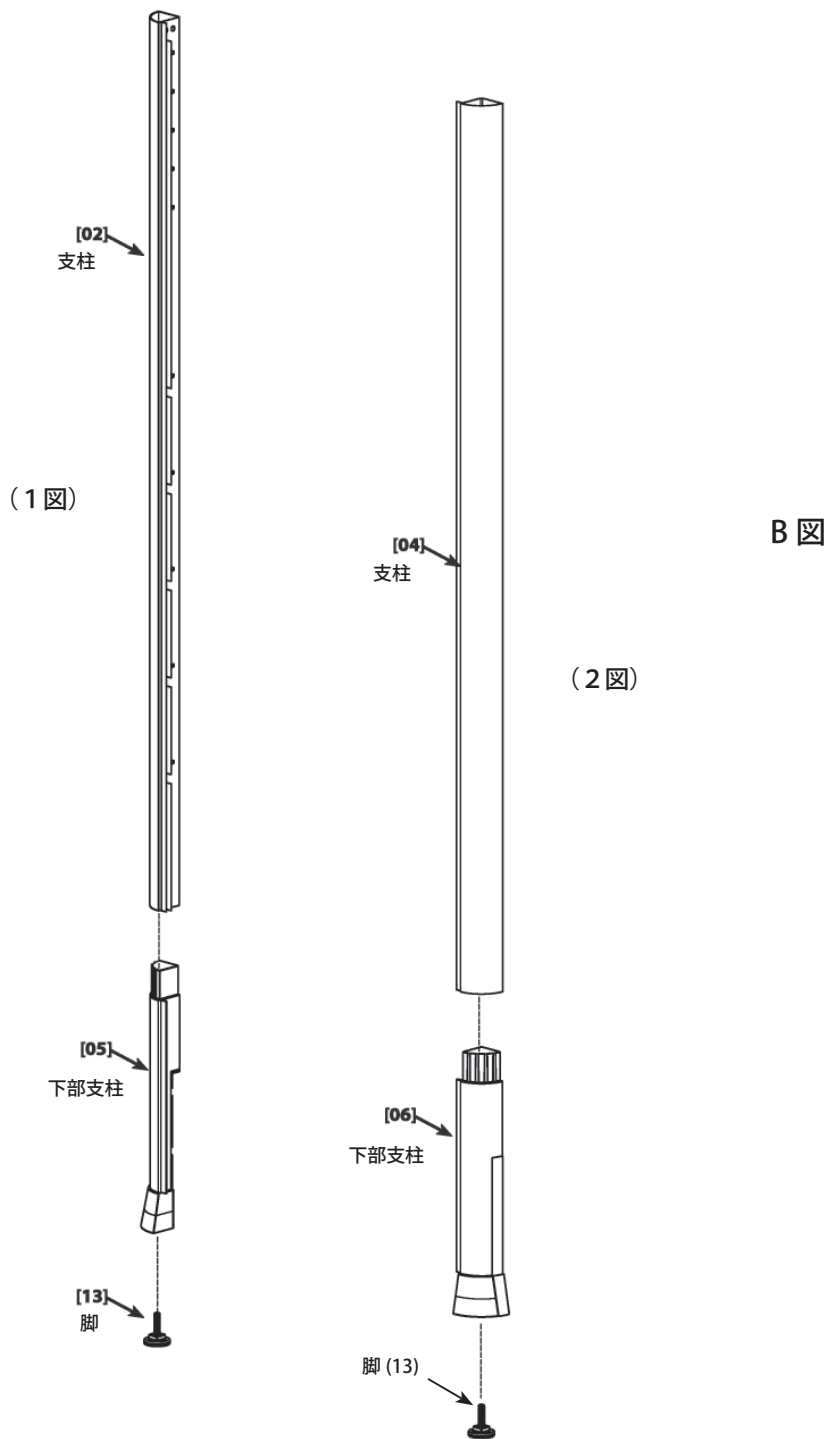


3 組み立てかた

1 2本の支柱の組み立て

(1) (1図)のように、脚 [13] を下部の支柱 [05] に取り付けてから、次に上部の支柱 [02] を取付けます。

(2) 同様に (2図) のように、脚 [13] を下部の支柱 [06] に取り付けてから、次に上部の支柱 [04] を取付けます。



2 組み立て前の準備と FS56 のオプション工程 1

- (1) 4 項の組み立て工程に入る前に、支柱 [02] と [03]、壁掛け金具 [01]、パネルブラケット [03]、木製パネル [09] を床の上に置きます。
- (2) お使いの薄型テレビと周辺の家具類の高さから、壁掛け金具と木製パネルの取付位置を決めます。
木製パネルの上面が、薄型テレビの下面から 2.5cm ~ 5cm 上方向に配置して、木製パネルの上面が見えないように取り付けるのが理想です。

FS56 の場合、薄型テレビの中央部が、床から 1.24m ~ 1.4m の範囲にくるように配置する時は、オプションの延長金具の取付は必要ありません。床から 1.55m ~ 1.65m の範囲内になる場合は、延長金具が必要です。

延長金具は FS56 にのみ付属しています。延長金具の取付方法は、下記の C 図、及び 5 頁の D 図に従って取り付けて下さい。

注意

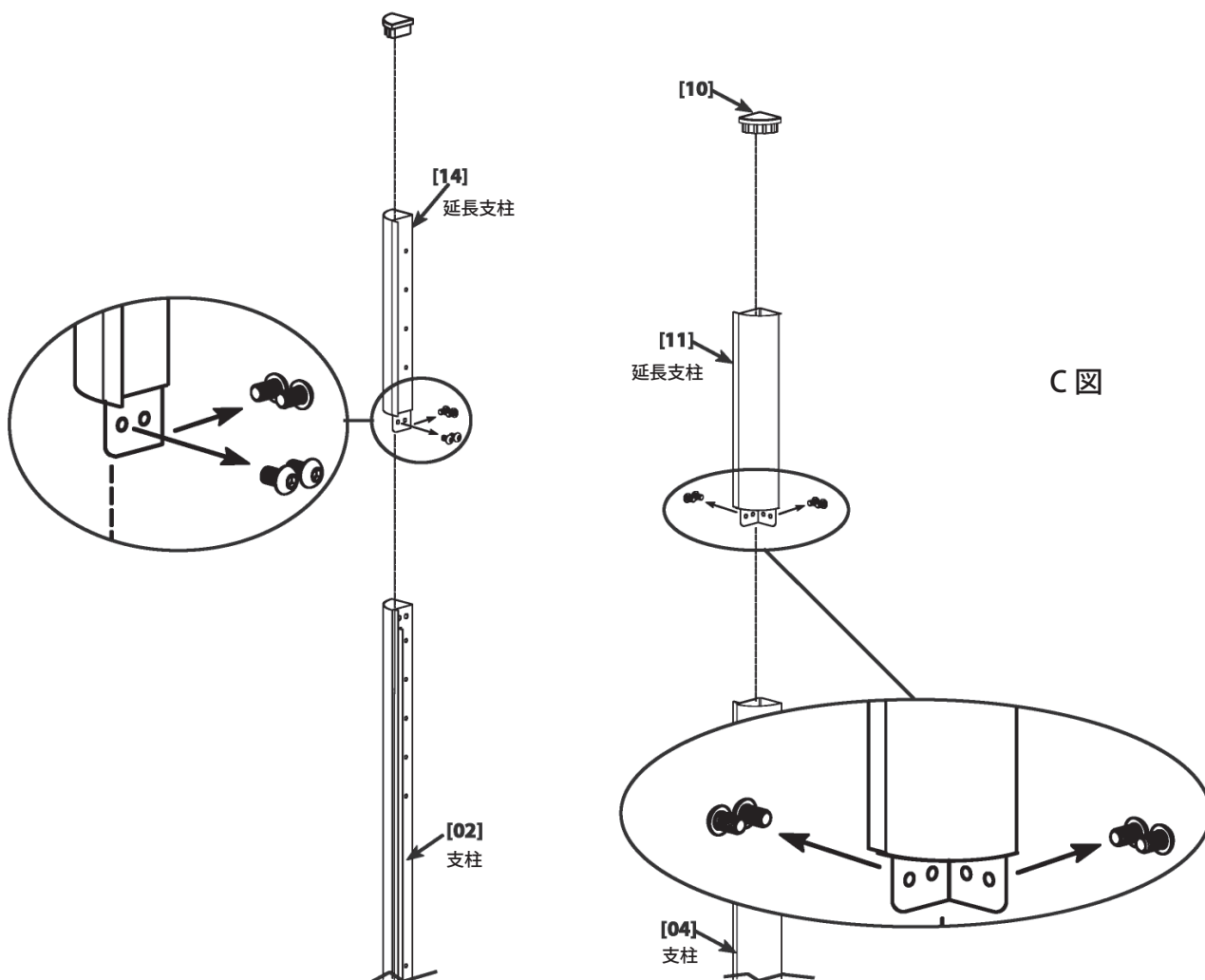
壁掛け金具 [01] と、パネルブラケット [02] は、床から持ち上げる前に組み立てる必要があります。

FS56 のオプション工程 1

もし、薄型テレビの中央部を床から 1.55m ~ 1.65m の範囲に取り付ける場合は、次の組み立てをして下さい。

床から 1.24m ~ 1.4m の範囲で取り付ける場合は、このオプション工程は必要ありません。

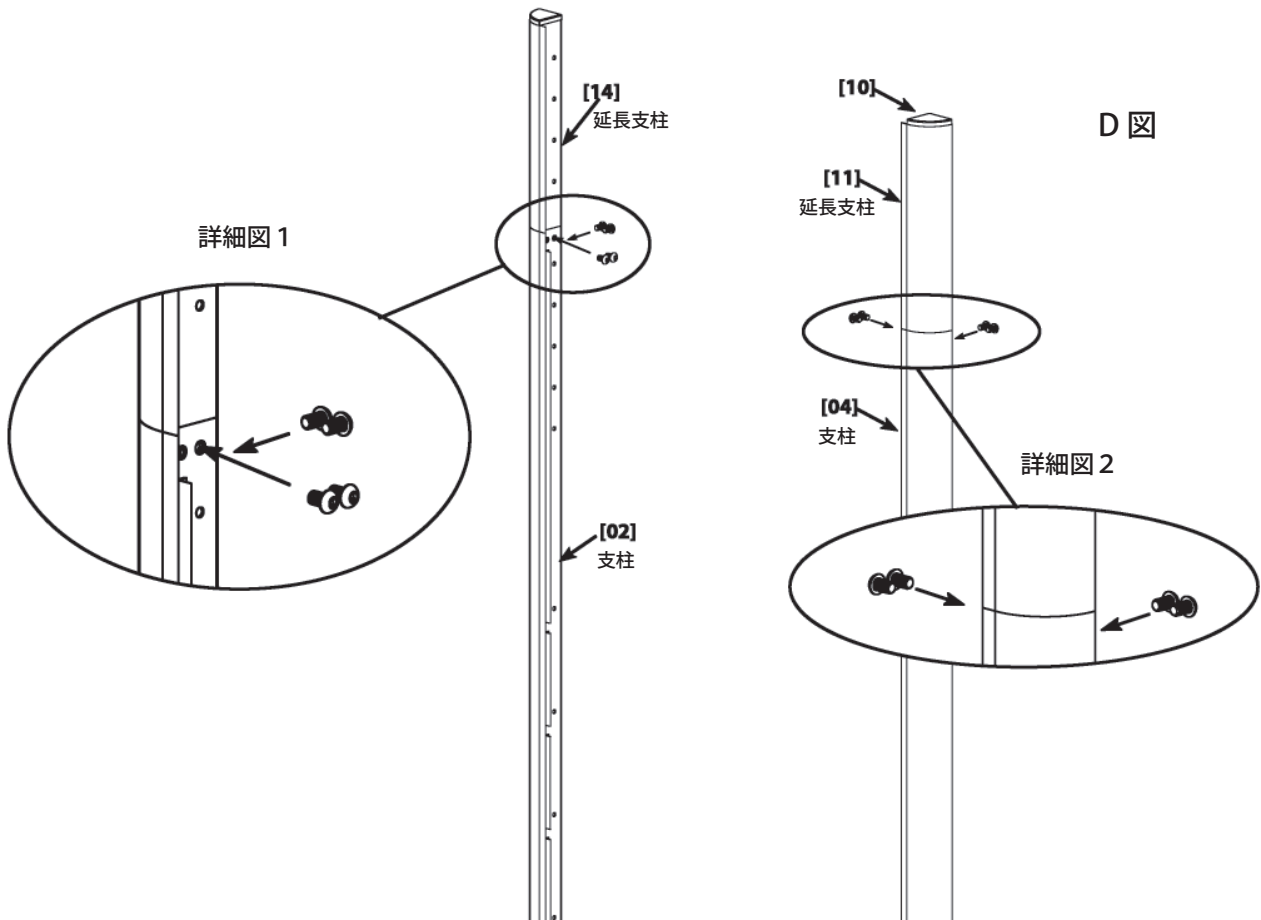
- (1) C 図は、各部品の組み立て位置の相互関係を示しています。この図に従って、オプションの各組み立て部品を準備します。



3 FS56 のオプション工程 2

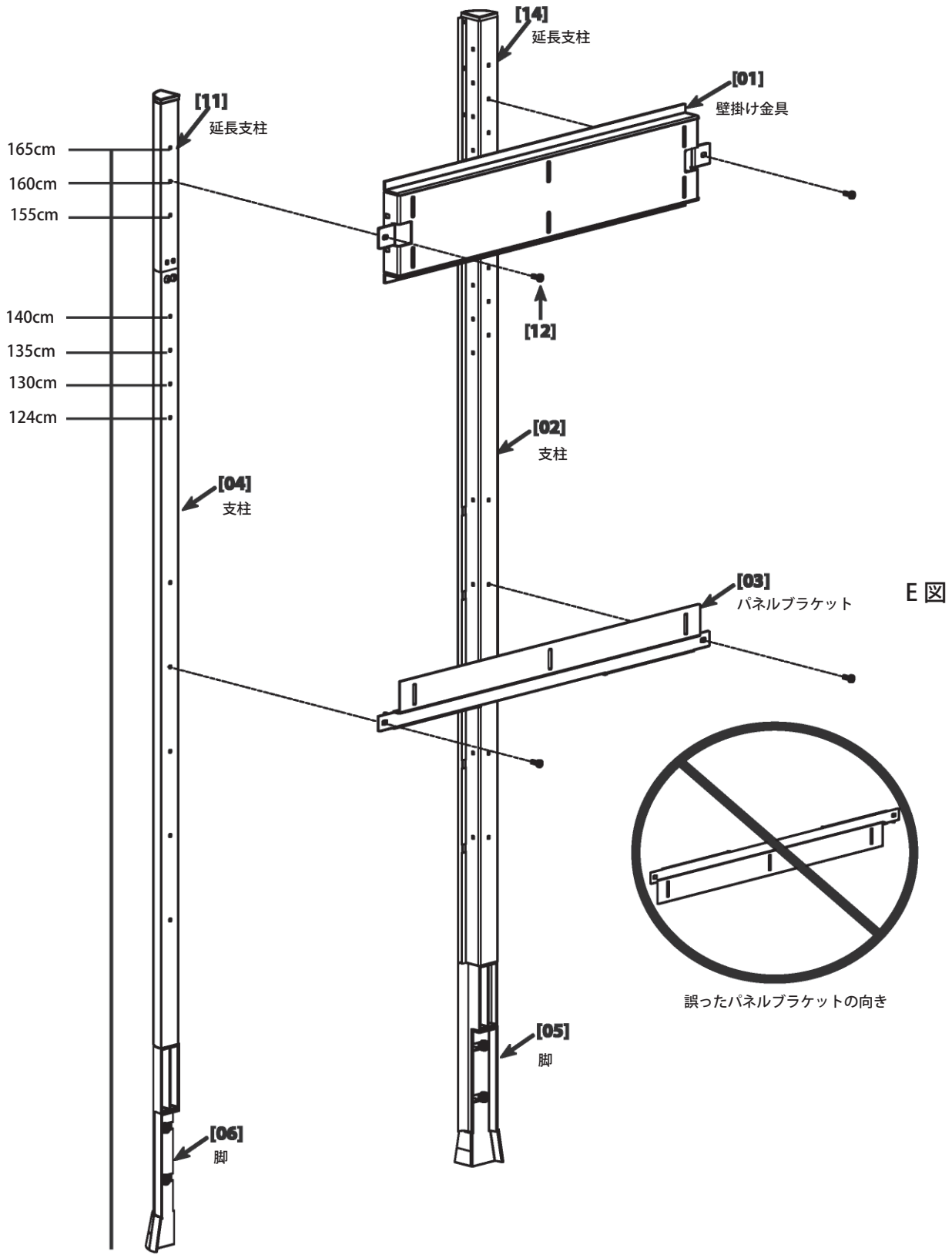
もし、薄型テレビの中央部を床から 1.55m ~ 1.65m の範囲に取り付ける場合は、次の D 図の組み立てをして下さい。
床から 1.24m ~ 1.4m の範囲で取り付ける場合は、このオプション工程は必要ありません。

- (1) 支柱 [02] の上部に延長支柱 [14] を挿入し、詳細図 1 のようにネジ 4 本で固定します。
- (2) 同様に、支柱 [04] の上部に、延長支柱 [11] を挿入し、詳細図 2 のようにねじ 4 本で固定します。

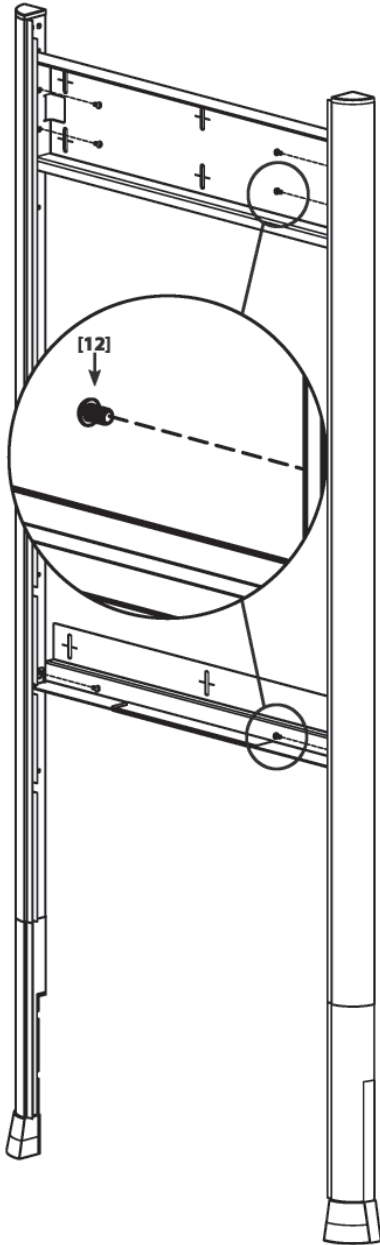


4 壁掛け金具とパネルブラケットの支柱への取付 ----- その1

- (1) お使いの薄型テレビの中央部の、適切な高さの取付位置を、E図の左側図に示す5cmピッチの中から選択します。
- (2) 支柱 [02] 及び支柱 [04] のご希望の高さ位置に、正面から2個のボルト [12] で壁掛け金具 [01] を支柱に取り付けます。(E図) なお、FS56で延長支柱 [11] 及び [14] をご使用の場合は、155cm から 165cm の高さが選択できます。
- (3) 次に木製パネルを取り付けるパネルブラケット [03] を、ご希望の高さ位置に正面から2個のボルト [12] で固定します。その際、木製パネルの高さ (482.6mm) を考慮してください。



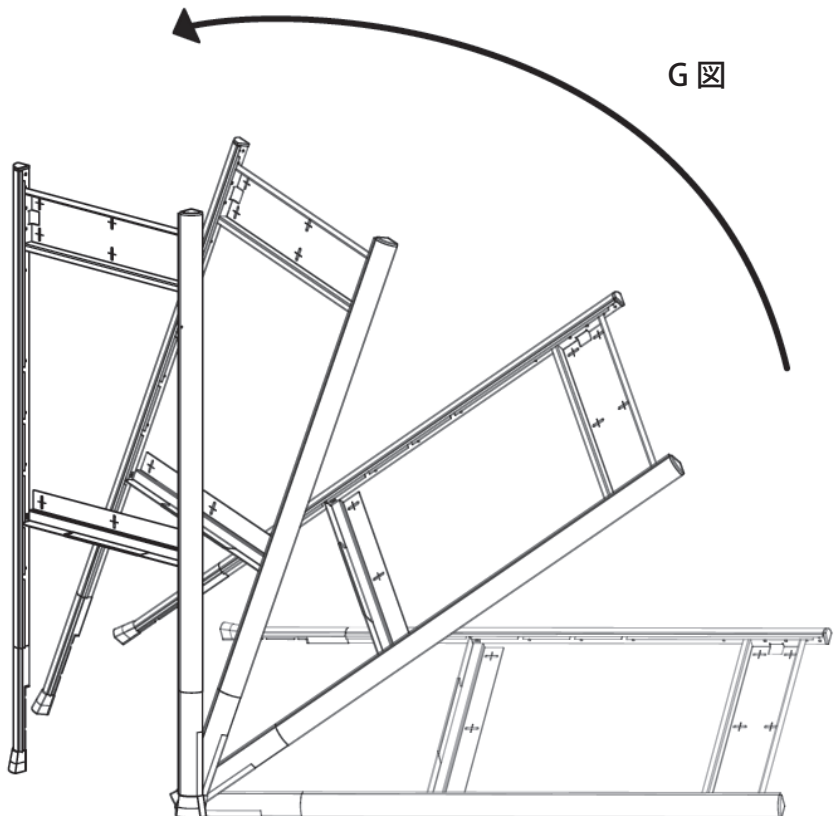
5 壁掛け金具とパネルブラケットの支柱への取付 ----- その2、 と本体の立てかけ



- (1) F図のように、支柱 [02] 及び支柱 [04] の側面に4個のボルト [12] で壁掛け金具 [01] を支柱に固定します。(F図)
なお、FS56で延長支柱 [11] 及び [14] をご使用の場合は、同様に支柱の側面に固定します。
- (2) 同様にパネルブラケット [03] も、支柱の側面に2個のボルト [12] で固定します。

F 図

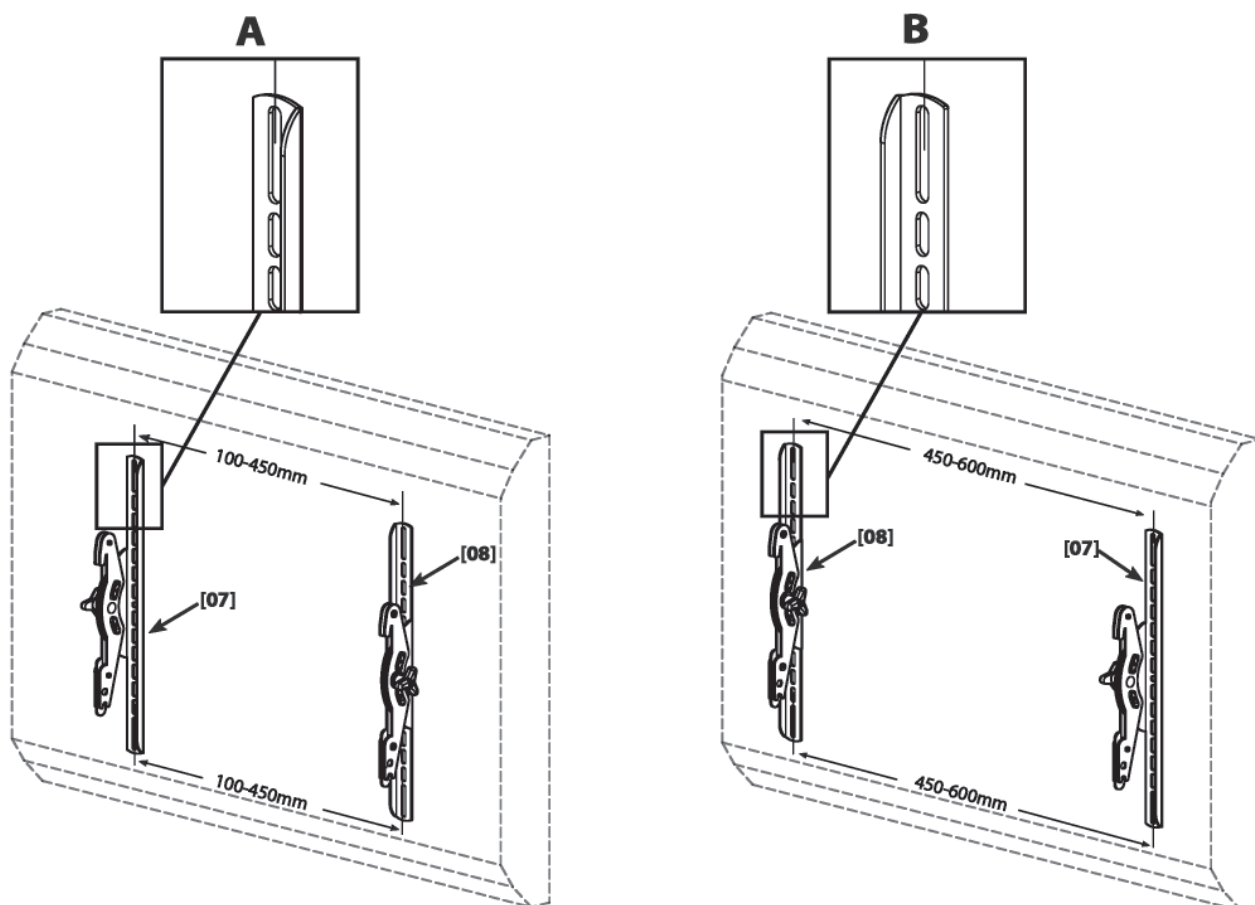
- (3) G図のように、本体を床から引き起こして立てかけます。



G 図

6 モニターブラケット取付の準備作業

- (1) 薄型テレビの取付穴のパターンにより、モニターブラケット A [07]、及びモニターブラケット B [08] の取付方向を選択します。
- (2) 取付穴間隔が 100 ~ 450mm の場合は、A に示す位置関係にします。
- (3) 取付穴間隔が 450 ~ 600mm の場合は、B にしめす位置関係にします。

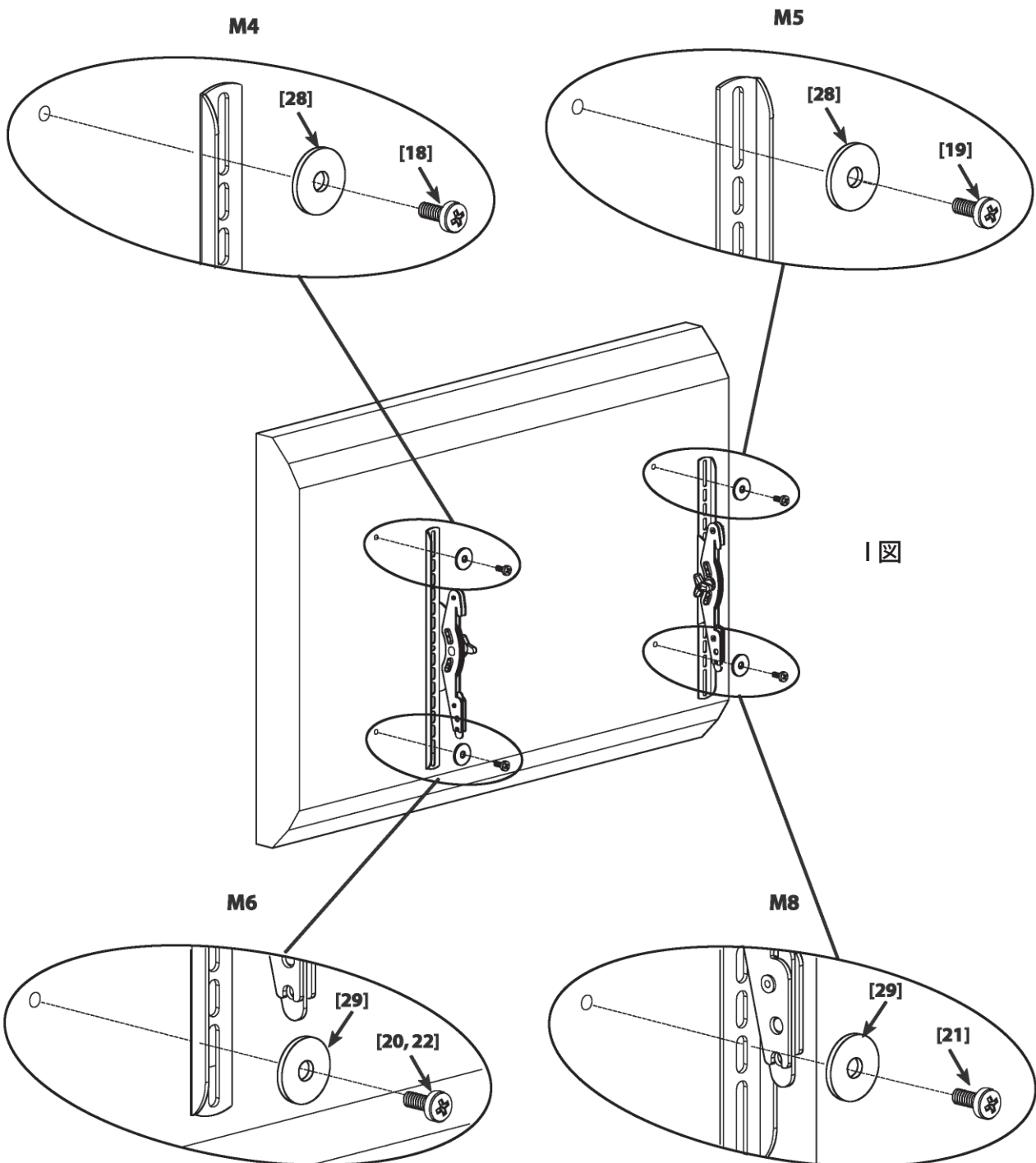


H ☒

7 背面が平坦な薄型テレビへのブラケット取付

注意：1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。

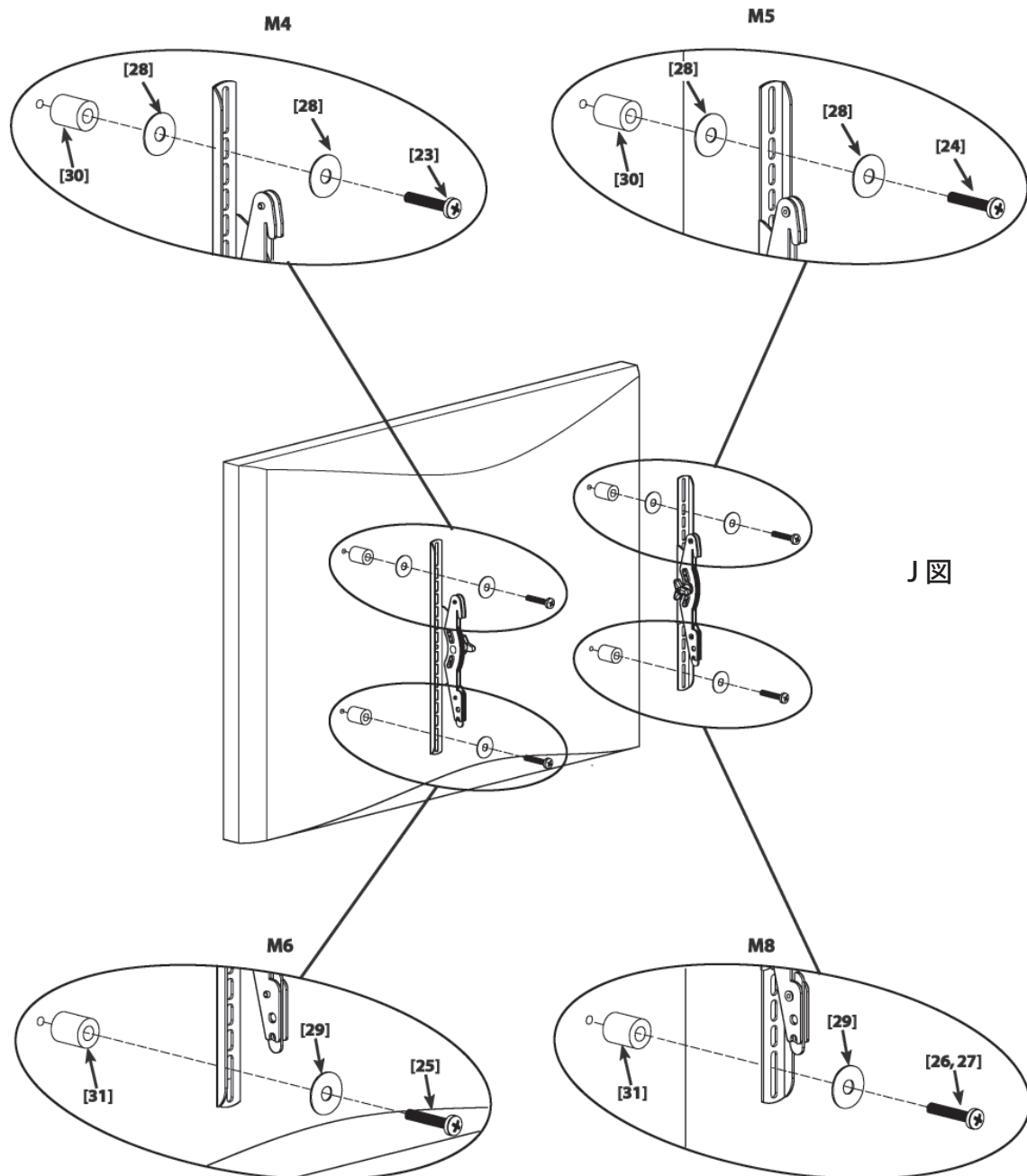
- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるモニターブラケット A[07]、及びモニターブラケット B[08] を前項 6 で決めた位置関係に配置します。
次にその適合するネジ穴の口径を、手で緩くねじ込んで調べます。
ネジ長が長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャーを各々 2 コづつ使って、薄型テレビにモニターブラケットをしっかりと取り付けます。(M4～M8 図)
- (4) もし、薄型テレビの背面が平坦でも、ケーブル類を通したり、部分的に窪みや突起物がある場合は、次項のようにスペーサーを使う方法を参照して下さい。
- (5) 二つのモニターブラケットは、薄型テレビの左右の中央に水平で、且つ [07] と [08] を間違えないよう取り付けます。



8 背面が曲がっていたり、障害物や窪みのある薄型テレビへのブラケット取付

- 注意：1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。
 2. ネジの長さは、必要最小限にして下さい。長すぎる場合はテレビの内部の部品を破損する恐れがあります。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるモニターブラケット A[07]、及びモニターブラケット B[08] を前項 6 で決めた位置関係に配置します。次にその適合するネジ穴の口径を、手で緩くねじ込んで調べます。
- (3) ネジ口径が、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャー、及びスペーサーを各々図示した数量で、薄型テレビにモニターブラケットをしっかりと取り付けます。(M4 ~ M8 図)
 ネジやスペーサーは、曲がり具合、障害物、窪みの量から判断して、最短の最適な長さの物を使って下さい。長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (4) モニターブラケット A[07]、及びモニターブラケット B[08] の取付位置は、薄型テレビに対して左右対称に、且つ水平に取り付けます。又、上下の位置関係は、図の様に上下の中心付近に配置します。



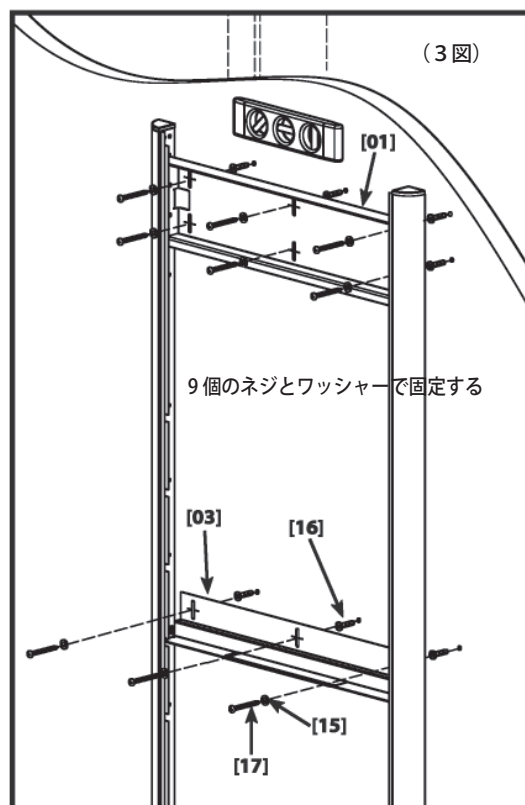
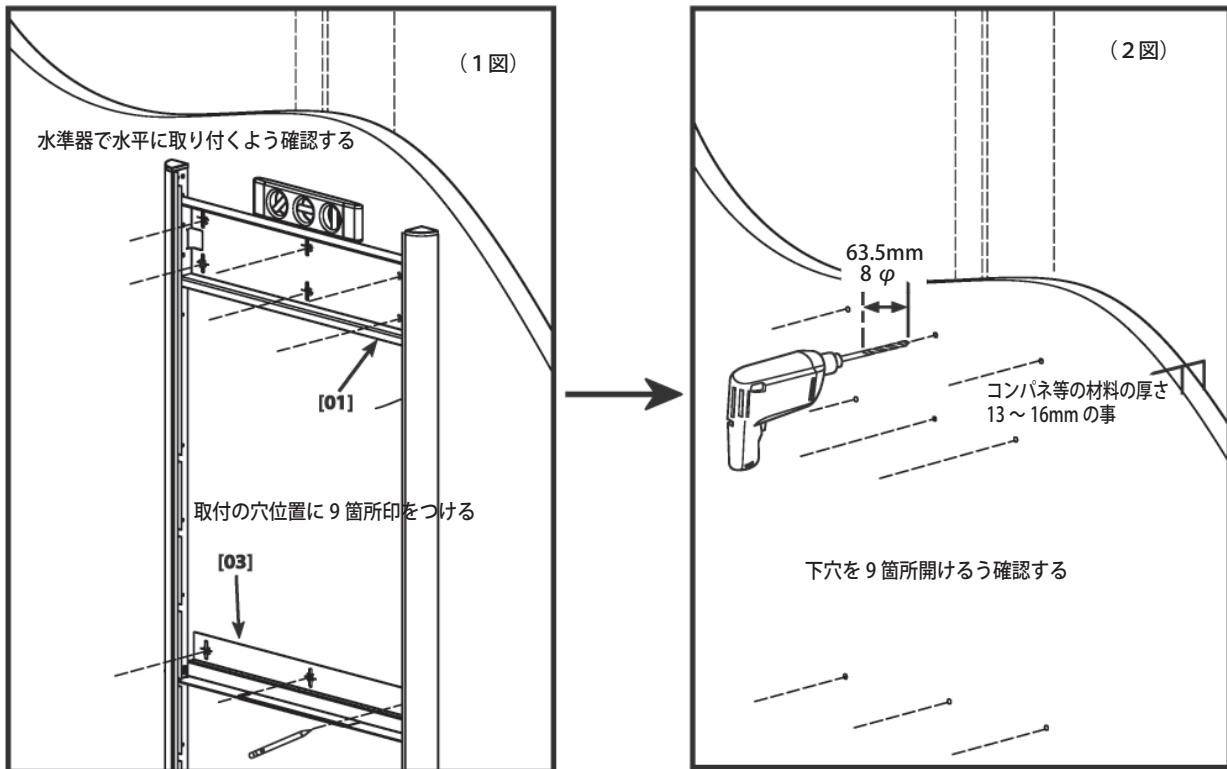
J 図

9 壁面取付金具の木製の壁面への取り付け



壁面取付金具を取り付ける壁面は、FS56の場合最大68kg、FS46の場合最大45kgの薄型テレビを、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

- (1) K図の(1図～3図)のように、壁掛け金具[01]は、木製の壁面に6本のボルト[17]、及びワッシャー[15]で、又パネルブラケット[03]は3本のボルト[17]、及びワッシャー[15]で固定します。
- (2) 壁面の上を覆っている材料は、13～16mmとしてください。



K図

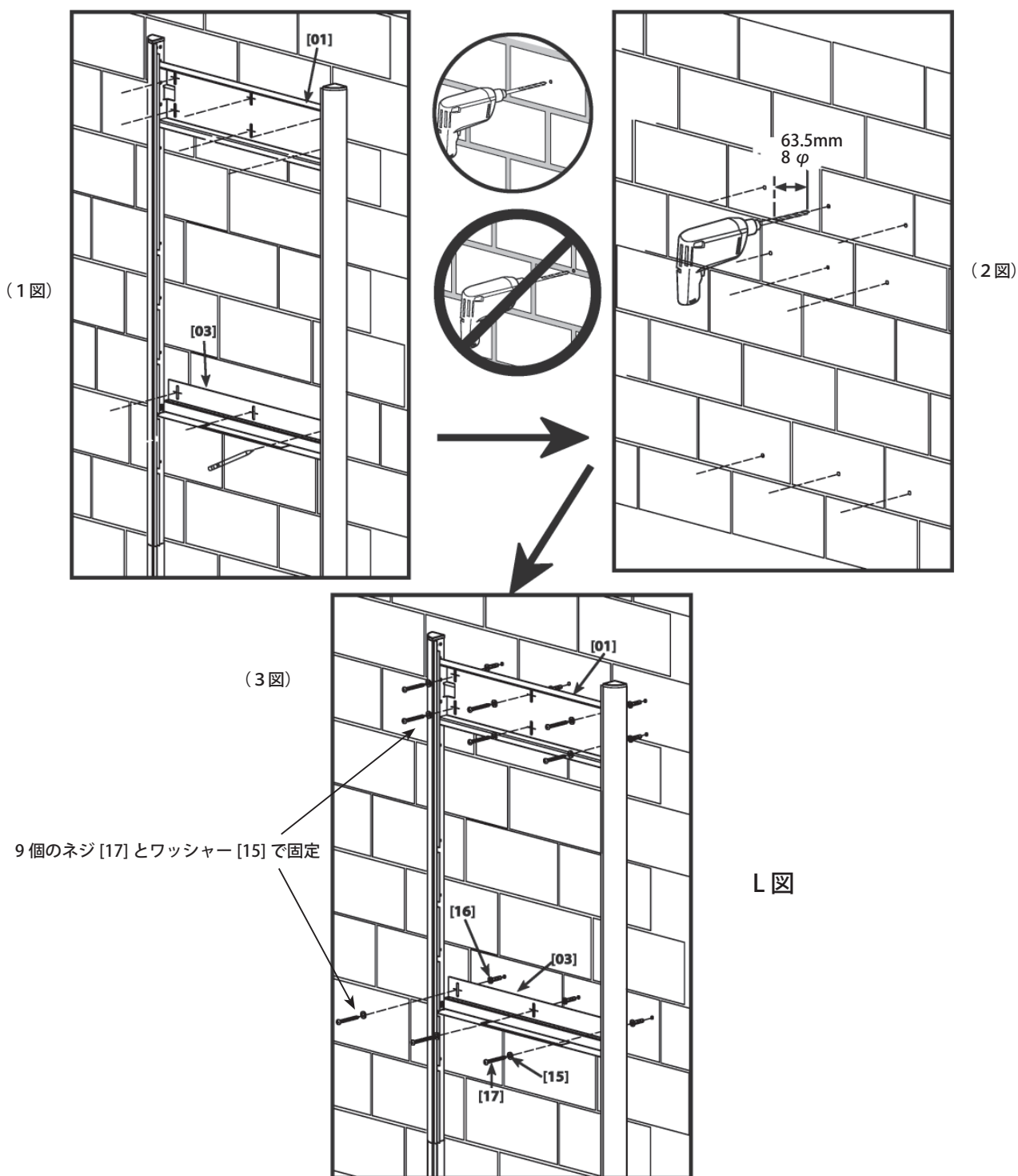
10 壁面取付金具のコンクリート壁面への取り付け



禁止

壁面取付金具を取り付ける壁面は、FS56の場合最大68kg、FS46の場合最大45kgの薄型テレビを、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

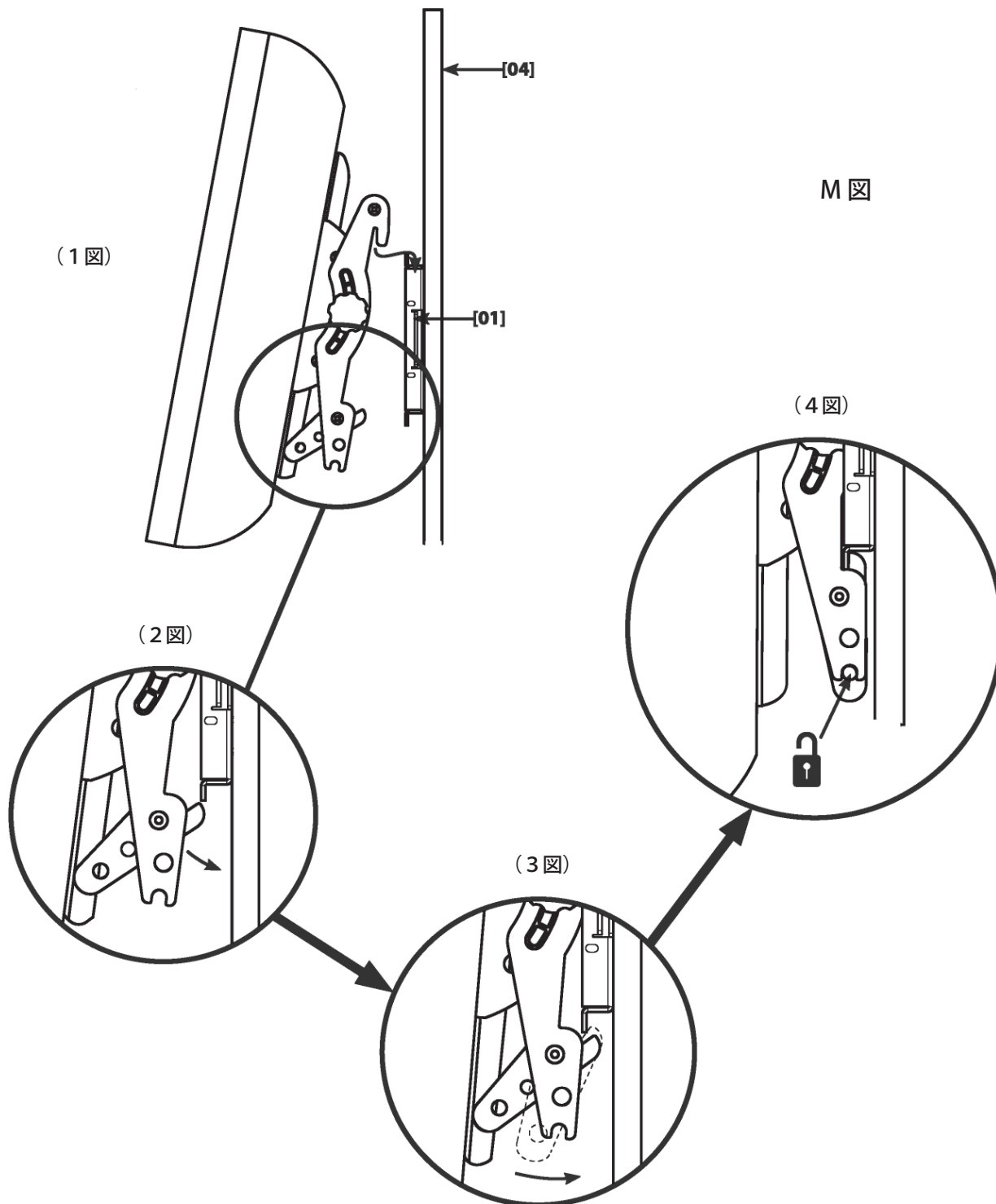
- (1) L図の(1図~3図)のように、壁掛け金具[01]は、6本のコンクリートアンカー[16]と6本のボルト[17]で、又パネルブラケット[03]は、3本のコンクリートアンカー[16]、3本のボルト[17]、及びワッシャー[15]で固定します。
- (2) 壁掛け金具やパネルブラケットを型紙代わりにして、壁面に合計9箇所の取付穴位置に印を付けます。(1図)なお、コンクリートブロック壁の場合は、ブロック上に取り付けます。ブロック間に取り付けけないこと。
- (3) コンクリートアンカー[16]を打ち込むために、8φ 深さ63.5mmの下穴を合計9箇所開けます。(2図)
- (4) コンクリートアンカー[16]の表面は、コンクリート壁と同一平面として下さい。(3図)
- (5) 壁面の上を覆っている材料は、13~16mmとして下さい。



1.1 薄型テレビの取付け

注意：薄型テレビの取付けは、重いので必ず大人2人で作業して下さい。

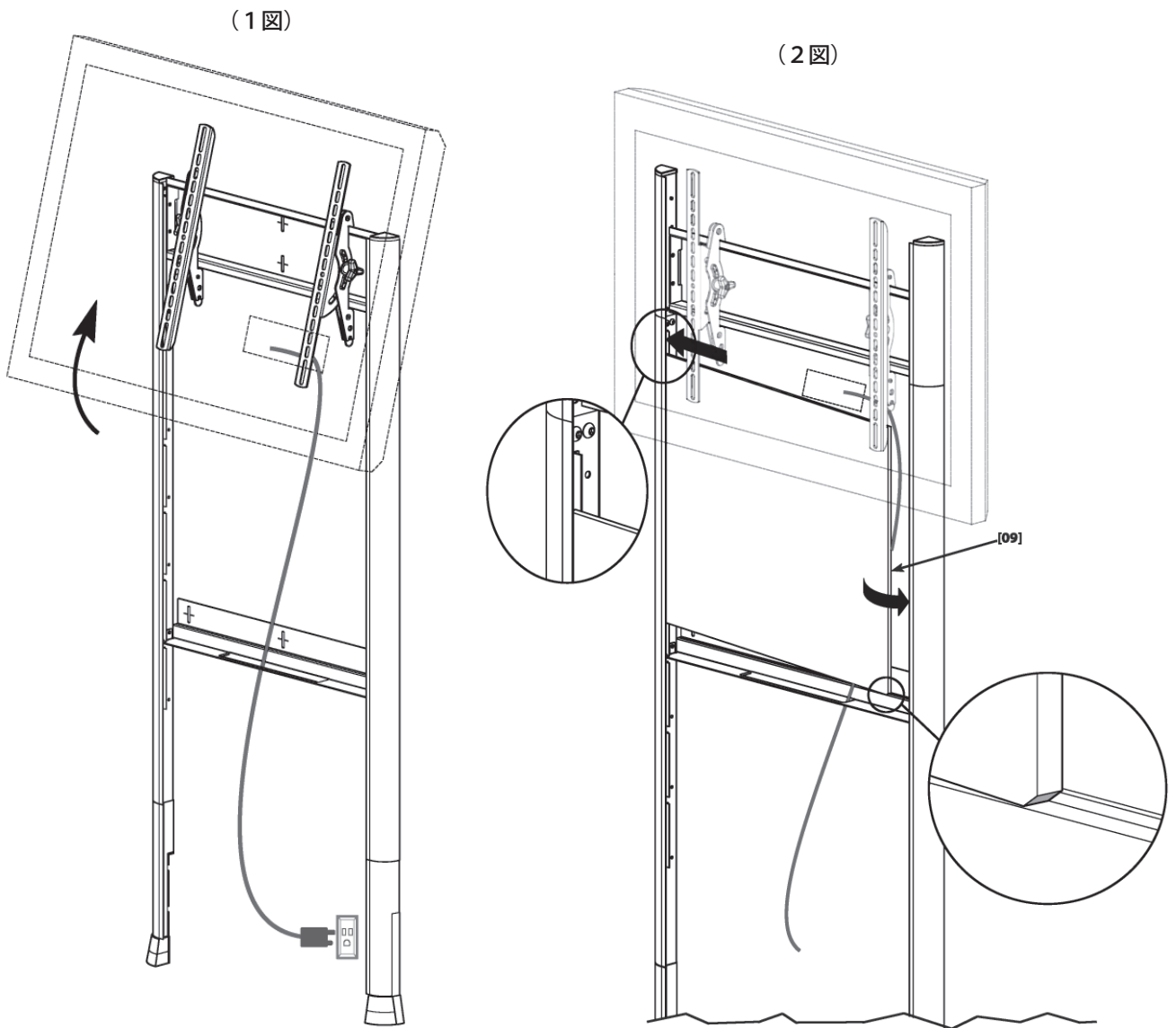
- (1) 薄型テレビに取り付けたモニターブラケット A、及び B をの上部タブを、(1 図) のように壁掛け金具 [01] の上側に引っかけます。
- (2) 次に薄型テレビの下部を壁面方向に押しながら、モニターブラケット下部の留め金を、(2 図) ~ (3 図) に示す矢印方向に廻して、(4 図) の位置に固定してロックします。
- (3) (4 図) に示す位置に南京錠でロックすれば、安全性は一層向上します。



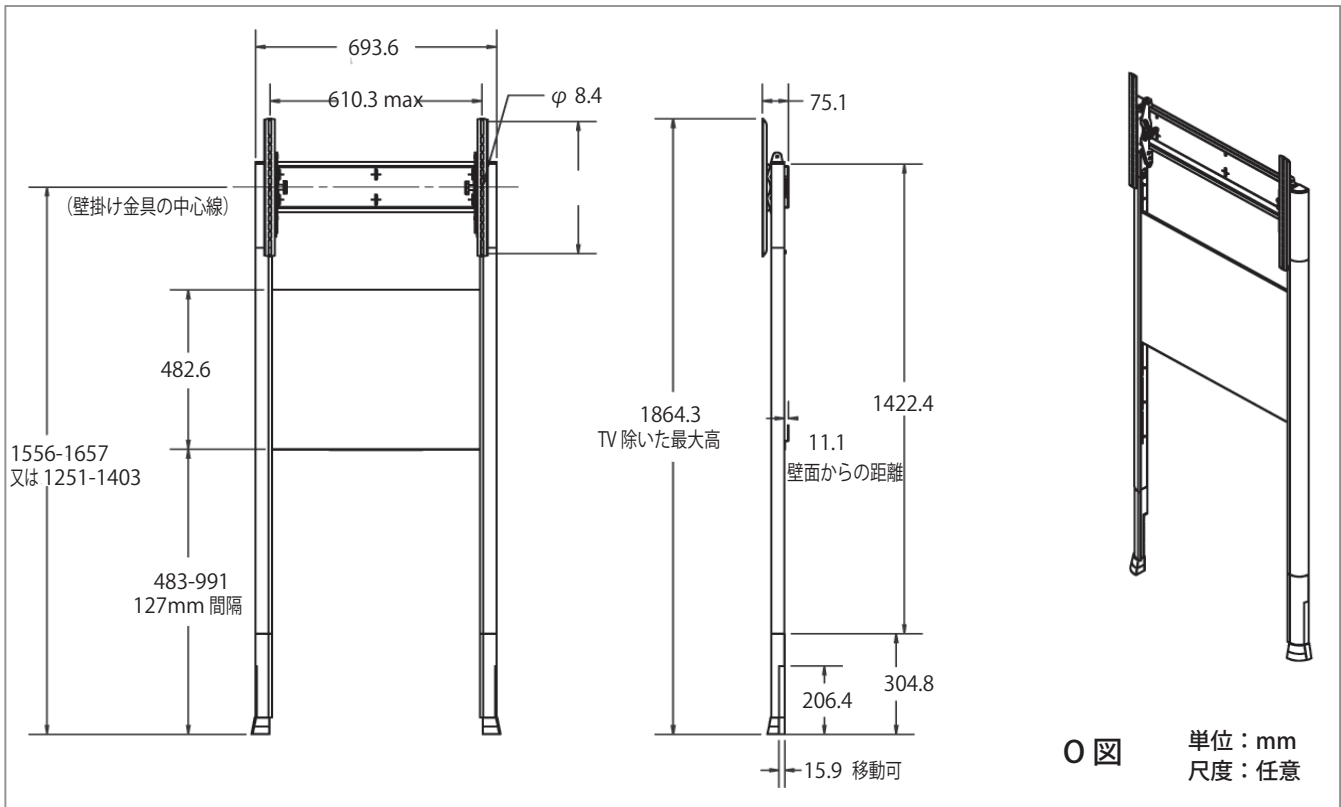
1 2 木製パネルの取付け

- (1) 薄型テレビを (1 図) に示す位置に傾けます。
- (2) 電源コードやアンテナ線やケーブル類を配線します。
- (3) 木製パネル [09] を左側の支柱の溝にはめ込みます。(2 図)
- (4) 次に右側をはめ込み、下に下げて、木製パネルを固定します。

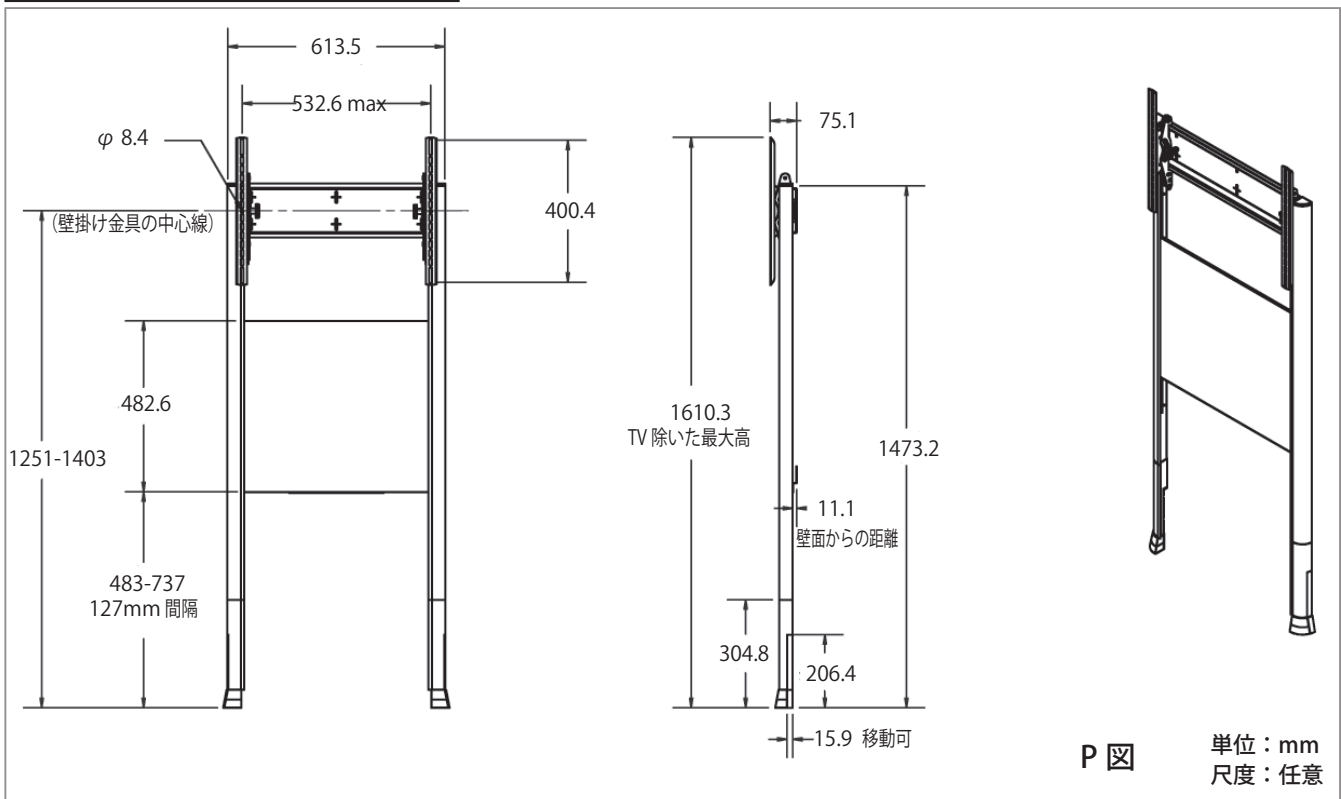
N 図



4. FS56 外観図



5. FS46 外観図



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL: 06-6612-2008 FAX: 06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com